



武豊町マスコットキャラクター
みそたろう



【昭和初期の旧庁舎】

武豊町制 65 周年記念誌
発 行／武豊町企画部秘書広報課
発行日／令和元年10月1日

古き良き時代から受け継がれるものと、
新たに創り出されるものとの融合…。
未来の武豊町はどんな風に変わっていくのだろう?
懐かしい時代を振り返りながら、未来の武豊町を
創造していこう。



2019

The 65th Anniversary of Taketoyo

武豊町制 65 周年記念誌

65周年を迎えて



昭和、平成、令和の時代を経て武豊町は、現在の形になって65周年の節目の年を迎えました。

昭和の時代は、戦後まもなく高度経済成長期に入っていく時代背景もあり、本町も臨海部企業とともに農・商・工がそれぞれバランスよく発展をしてまいりました。

そして、平成の時代は、著しい社会情勢の変化、少子高齢化等大きな時代の変革期を迎える中、本町では、着実に発展を続け、平成12年には、人口が4万人を超えることとなりました。

そして、65年の年月を経て、時代は、令和となりました。先人の方々が築き上げてこられた歴史を引き続き継承しながら、これからも町民の皆様と手を携えて未来を見据えた魅力あるまちづくりを着実に推進してまいります。

武豊町長
松山芳輝



元号が令和となった今年10月5日に、武豊町制が施行され65周年を迎えました。

現在の武豊町が豊かで暮らしやすい環境であるのも多くの先人の皆様のご尽力ならびにたゆまぬ努力のおかげであることに敬意と感謝を表するものであります。

また、町議会といたしましては、時代の進行に伴う様々な価値観や環境の変化に的確に対応し、この町武豊に「住んで良かった」と感じていただけるよう、町民の皆様の意見を大切に、町民の皆様の歩調に合わせた町づくりに取り組んでまいりたいと議員一同考えております。

これからも皆様からのご意見・ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

武豊町議会議長
福本貴久

65年のみちのり

昭和

29 武豊町制施行



32 武豊港が衣浦港に統合・改名



37 役場新庁舎が完成…①

38 常滑武豊衛生組合ごみ処理場が完成

41 国鉄武豊線開通80周年…②



47 衣浦小学校と富貴中学校の体育館が完成

49 人口が3万人を突破

51 中央公民館が完成…③

54 町民憲章制定

55 第1回ふるさとまつり開催…④

57 世帯数が1万世帯を突破

59 壱町田湿地植物群落が県文化財に指定…⑤

61 図書館が完成…⑥



平成

元 武豊騎手一日町長として来町…⑦

5 総合体育館が完成…⑧

6 第1回武豊ふれあい山車まつり開催…⑨

12 人口が4万人を突破

14 「旧国鉄武豊駅転車台」復元記念式典挙行

16 町民会館（ゆめたろうプラザ）開館

20 第2回全国醤油サミットがゆめたろうプラザで開催

21 「旧国鉄武豊駅転車台」が国の登録有形文化財に登録

26 武豊町制施行60周年衣浦みなとまつり花火大会、第5回武豊ふれあい山車まつり開催

28 地域交流センター、味の蔵たけとよが完成

29 内閣府・愛知県・武豊町地震・津波防災訓練を実施…⑩

30 連続1,500日間交通事故ゼロを達成





■昭和21年の武豊劇場



おおしまのひゆき
大嶋宣行さん(90)

1 写真の思い出

武豊劇場は、戦前は「大黒座」と呼ばれる映画館でした。終戦後に「武豊劇場」になりました。終戦直後は、娯楽がほとんどなく、演芸や芝居が数少ない娯楽でした。

昭和21年の写真の後列の右から2番目が私はです。私たちは8人のグループで「花捻（はなねじ）」という劇をやりました。内容は、詳しくは覚えていませんが、既存のものをアレンジしたオリジナルの劇でした。他の人の劇を見るのも楽しかったですが、みんなで一緒に一つのことをやれたのが何よりの思い出です。

2 昔と今の違い

今は昔と比べて、近所の繋がりが薄くなったように感じました。昔はもっと広い範囲で近所の繋がりがありました。今の人たちも、近所の繋がりを大切にしてほしいです。

3 これからの武豊にどうなってほしい？

武豊の伝統や文化を今後も残してほしいです。



■武豊劇場があった場所
(現在はユタカフーズ堀割寮)

武豊ノスタルジア

～昭和の思い出、令和への想い～

昔の写真の思い出やこれからの武豊への期待や想いを語って頂きました。



おかだ もさ
岡田智恵さん(54)

1 写真の思い出

この頃の野菜茶業研究所は、職員がいる間は出入りが自由で、広さは学校のグランドくらいありました。年に1回の一般公開日では、建物内が見学でき、多くの人が訪れていました。

私もよく近所の子と遊びに行きました。私は、人形遊びやおままごとといった女の子遊びは全くやらず、男の子と一緒に、メンコやコマ、川でザリガニを捕まえて遊んでいました。あの頃は外で遊べる場所がいっぱいあって、とても楽しかったです。

2 昔と今の違い

今は、子どもの遊び場が減っています。公園のルールもこんなに厳しくありませんでした。子どもの遊び場がもっと増えるといいなと思います。

3 これからの武豊にどうなってほしい？

私の息子は障がいがあり、「ヘルプカード」を付けています。けれど、ヘルプカードを知らない人は多いです。障がいがあっても住みやすい町になってほしいです。



■昭和40年ごろの野菜茶業研究所



■現在の野菜茶業研究所跡地

昭和の一枚、令和の一枚

武豊町内の昭和の写真と今の写真を撮影しました。

役場～武豊駅周辺



昔 昭和38年
役場屋上からの景色



昔 昭和30年ごろ
武豊町役場(移設前)



昔 昭和39年
武豊町役場(移設後)



今 令和元年
役場屋上からの景色



今 令和元年
武豊町役場



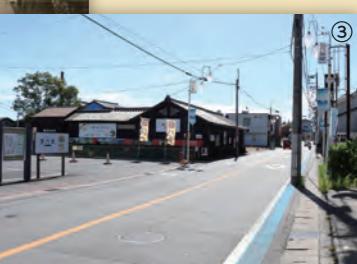
昔 昭和15～20年ごろ
JR武豊駅



今 令和元年
JR武豊駅



昔 昭和10年ごろ
みゆき通り
【中川清宏さん提供】



今 令和元年
みゆき通り



昔 昭和29年
名鉄知多武豊駅
ホーム(河和方面)



今 令和元年
名鉄知多武豊駅
ホーム(河和方面)



昔 昭和28年
武豊橋(金下付近)



今 令和元年
武豊橋(金下付近)

昔は木造の橋でした。昭和29年にコンクリート橋へ工事が行われました。

※写真内丸数字はP6のノスタルジア案内MAP参照

昭和の一枚、令和の一枚



昔 昭和4年まで
別曽池 当時は3つの池(工事前)



今 令和元年
別曽池(工事後)

町内全域



昔 実は別曽池は
3つの池でした。
昭和4年から工事
が行われ、ひとつ
の池になりました。



昔 昭和40年ごろ
武豊中学校
(旧校舎)

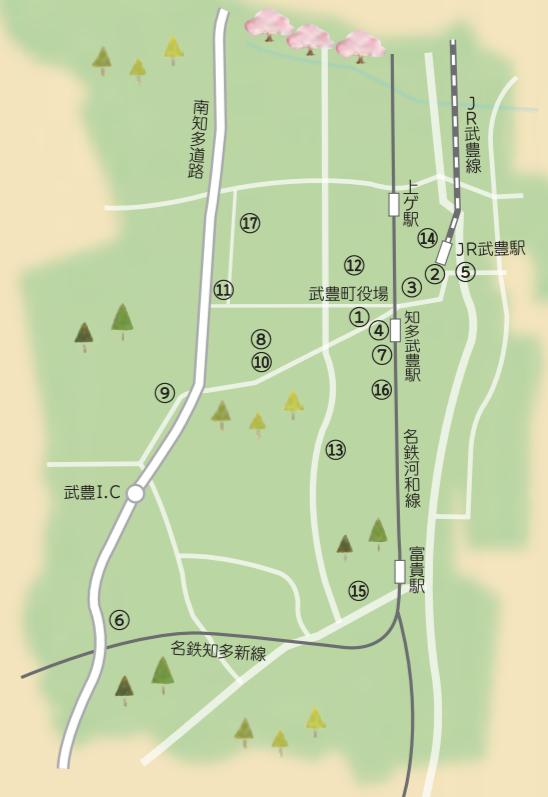


今 令和元年
武豊中学校
(新校舎)

新校舎は平成23年に完成しました。

小中学校

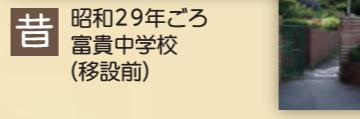
ノスタルジア案内MAP



昔 昭和56年
目堀のアパート
からの景色(南側)
【土原稔さん提供】



今 令和元年
目堀のアパート
からの景色(南側)



昔 昭和56年
目堀のアパート
からの景色(北側)
【土原稔さん提供】



今 令和元年
富貴中学校



昔 昭和29年ごろ
富貴中学校
(移設前)



今 令和元年
富貴中学校



昔 昭和5年ごろ
武豊小学校



今 令和元年
武豊小学校

昔 昭和16年ごろ
富貴国民学校
(富貴小学校)

今 令和元年
富貴小学校

昔 昭和16年ごろ
富貴国民学校
(富貴小学校)

01

武豊が誇る4つの魅力



福祉

支え合い ともに築くふれあいのまち



障害者週間(12/3~9)に広く障がい者福祉に関する関心と理解を深めていただくこと等を目的として、障がい者が制作した作品を展示しています。



障がい者の社会参画・自立促進の支援、障がい者への理解促進を図ることを目的に、役場において障がい者が製作・加工した授産製品を販売しています。

住み慣れた地域で

いつまでもいきいきとした暮らしを

介護予防事業の一つとして町民、日本福祉大学とともに協働で始めた「憩いのサロン」は、平成19年に3会場でスタートしました。現在では多数の運営ボランティアによる協力のもと、高齢者が身近に集まれる場所として町内に13会場が設置され、町内の高齢者の約1割が参加しています。

憩いのサロンでは、「みんなの笑顔があふれるサロン」、「ひとりひとりの思いを大切にするサロン」、「人と人とがつながる出会いのサロン」を合言葉に、お茶・おしゃべり、健康体操、趣味、レクリエーション、季節の行事等多様なプログラムが行われています。

介護予防・生きがいづくり・見守り活動の拠点であると同時に町内の保育園児や大学生ボランティア等、世代を超えた交流の場にもなっています。



02

武豊が誇る4つの魅力



子育て

ともに育ち ともに創る子どもが元気で輝くまち



保育園では、四季折々の自然に触ることを大切にし、様々な体験や行事を通して感性豊かな子どもに育つことを願って、保育をしています。



子育て相談や、親子で遊べる場、子育て家庭の仲間づくりの場の提供等、子育て家庭を支援しています。

“ともに”支え合う子育て

子どもたちの心と体が健やかに成長でき、子育て家庭が少しでも安心して育児ができるよう、町民、地域、企業、行政等が連携・協働し、まちぐるみで子育てを支え合い、子どもを見守り、育むことができるやさしい環境づくりに努めています。

町では、妊娠期から切れ目のない事業を展開し、ファミリーサポートセンターの設置や子育て支援センター、児童館を拠点に親子で楽しく遊べる場や親同士が子育ての悩みや喜びを分かち合える場を提供しています。

また、武豊町立保育園の目指す子ども像を「じょうぶな体ゆたかな心」として、保育園では健康的に生きるための基礎を培う運動あそび、食を通して命の大切さを学ぶ食育、人と関わるのが好きな子に育つよう人と関わる力の育成、遊びを通じて思考力・表現力を育む遊び(遊び)に力を入れています。



03

武豊が誇る4つの魅力



文化

心を豊かにし 人をむすぶ 生涯学習のまち



町民会館(ゆめたろうプラザ)は、町民の文化・芸術を培う拠点施設として、音響に定評のある“輝きホール”を中心に広く活用されています。



全国的にも珍しい池の中に建つ町立図書館は、地域の知的活動拠点であるだけでなく、町民のランドマークにもなっています。

文化・芸術を通じ心を豊かに

学ぶこと、活動することにより、心が一層豊かになり、その人らしく生きていくことができる「心を豊かにし 人をむすび 文化をつくる 生涯学習のまち」を目指しています。

文化・芸術の拠点である町民会館(通称:ゆめたろうプラザ)では、コンサートや演劇等に使用できる「輝きホール」、小編成のクラシックコンサートに使用できる「響きホール」やギャラリー・スタジオを擁し、町民だれもが多様な文化・芸術とふれあうことができます。N P O 法人と協働で運営を行う全国でも珍しい会館であり、平成25年度には地域創造大賞を受賞する等、全国からも注目を浴びています。

また、自分らしく生きるために、暮らしやすく魅力あるまちづくりのために、町民のみなさんがそれぞれの目的に応じた学習や活動を繰り広げています。



04

武豊が誇る4つの魅力



産業

伝統産業を受け継ぐ 歴史色づくまち



現在でも5軒の蔵元では、木桶による伝統的な醸造方法で味噌・たまりが造られ、伝承された技術で味を守り続けています。



地域交流施設の敷地内には芝生広場や遊具があり、イベントも開催され、憩いや交流の場にもなっています。

地域振興と産業・観光の新たな拠点施設

温暖な気候と良質な水にも恵まれ、江戸時代から味噌・たまり醸造が盛んに行われていました。明治19年には国鉄武豊線(現JR武豊線)が、その3年後には東海道線全線が開通し、販路が拡大されました。さらに明治32年には武豊港(現衣浦港)が県下初の開港場となり、日本各地のみでなく海外にも輸出され、飛躍的な産業の成長を遂げてきました。現在に至っても、武豊の味噌・たまりは全国でも名高い特産品として知られています。

町には、こうした味噌・たまりをはじめとした産業や観光を発信する拠点施設である「地域交流施設」があります。特産品の物販やフードコートを設けた「まちの駅 味の蔵たけとよ」や町の歴史産業や観光情報の発信を行う「地域交流センター」が併設され、全国から訪れる多くの方に武豊の魅力を発信しています。

